

こころのケア科

1. 概要

平成25年1月から12月までの副科初診患者数は277名であった。

外来は20人で、依頼元は糖尿病内科6人、外科4人、消化器内科と神経内科各3人などであった。救急外来は5名で、その病名はパニック障害やてんかんの疑いが各1人ずつと、自殺企図が3人である。

副科診療は全部で延べ252人。この中の緩和ケアチーム症例数は16名であった。精神面の緩和ケア外来の数は2人である。さて、252名の内訳は、せん妄の症例が一番多くて67人27%。2番目に多かったのは身体病での入院後や入院前からの適応障害や、急性ストレス障害、パニック障害などを含む、神経症圏の症例が53人で21%。3番目は自殺企図の症例で22人、8%。この3種類の状態で、252人中142人で全体の56%になる。

緩和ケアチーム依頼理由の内訳は、疼痛緩和が16人中7人、腹部膨満と呼吸困難・倦怠感・嘔気と嘔吐・せん妄が各2人、精神的な辛さが1人であった。

(部長 竹谷 一雄)

●疾患別頻度

総件数：217件

